

水路等に接する公園及び公共施設の緊急点検結果

公園及び公共施設の緊急点検結果(概要)

実施期間: 2022年(令和4年)11月～2023年(令和5年)1月

対象施設: 不特定多数の人が集まる場所で子どもが利用する施設

公園: 60施設

公共施設: 687施設(自然公園, 公民館・交流館, 小中学校, 支所, 文化施設, その他の施設)

点検内容: フェンスや生垣等に子どもが通れるくらいの隙間がある箇所で,
かつ隙間の先が水路やため池などの危険な箇所を抽出

点検結果:

	対象施設		危険が確認された施設数	危険が確認された箇所数
公園	60施設		22施設	75箇所
公共施設	687施設		6施設	20箇所

※危険が確認された全ての箇所に対して, ロープ, バリケード, 注意看板等による応急措置を講じている。

危険が確認された箇所的事例(1/3)

- 点検の結果、危険が確認された箇所は主に5つに分類される。

1 フェンス等の構造物が設置されていない箇所、構造物の間に大きな隙間(子どもが通れるような)が確認された箇所



【内海旧学校施設】



【能登原公民館】



【箕島北公園】

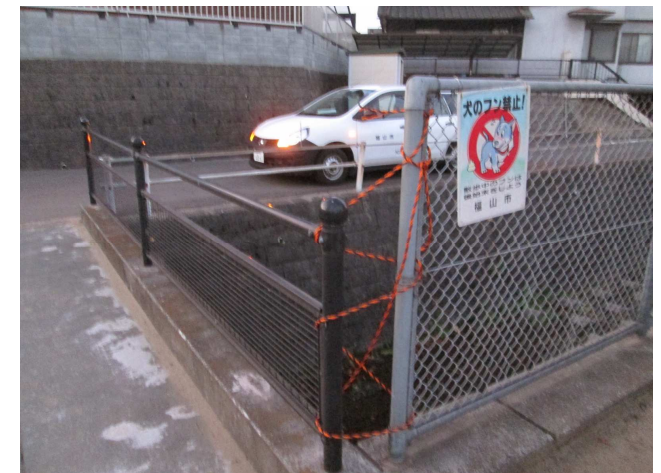
2 フェンス等の構造物の間に小さな隙間が確認された箇所



【竹ヶ端運動公園】



【川口東公園】



【かつらぎ公園】

危険が確認された箇所的事例(2/3)

- 3 水路の脇に水路の管理用道路が設置されており、そこへの出入口(間隔)を設けており、自由に出入できる箇所



【緑町公園】



【新涯第1公園】

- 4 水路の脇に生垣があり、その一部に隙間が確認された箇所



【蓮池公園】



【菅茶山記念館】



【内海旧学校施設】

危険が確認された箇所事例(3/3)

5 フェンスの老朽化等により、隙間等が確認された箇所



【沖野上西公園】



【倉光第1公園】



【仲富池桜公園】

※柵は設置されているが高さが低く、地元から改善の要望があがっている。